

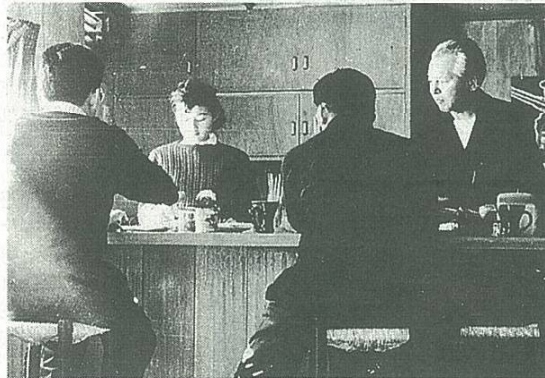
戦後、吉田茂元首相の側近として活躍した実業家の白洲次郎の未公開のプライベート写真47枚が見つかったことが分かった。東北電力会長時代(1951〜59年)に蔵王温泉(山形市)でスキーを楽しむためゲレンデ近くに建てた山荘「ヒュッテ・ヤレン」で撮られたものだ。

山荘で将棋を指す姿や、下着姿でたばこを吹かすショットもあり、タンデールで知られた白洲の別の一面を見せている。白洲の資料を集めている武相荘(旧白洲邸、東京都町田市)は「初めて見るもので、私的な写真が一般で見つかるのは珍しい」としている。

写真はすべてモノクロ

## 白洲次郎 山荘のひととき

### 未公開写真 見つかる



で、白洲と交流のあった白井次郎さん(故人)が58、田(白井さんの息子の久59年に撮影、アルバムに残り、土さん(50)が静岡県焼津市から連絡を受け、焼き取り組む特定非営利活動増ししたものを受け、法人(NPO法人)「元氣」た。

### スキーやバー、将棋… 内装も判明

写真は、白洲と仲間が山荘で写っているものが22枚、スキー場で撮ったものが14枚、蔵王温泉の風景などが11枚。

山荘は白洲が手放した後、改装され当時の状態が分かっていなかったが、写真には内部が写ったものもあり、今回新たに内装なども判明した。元氣・まちネットの矢口正武代表は「当時では珍しいホームバーが据え付けられるなど歴史的に意味のある建物だと分かった。保存活動に弾みがづく」と話している。

山荘「ヒュッテ・ヤレン」のカウンターに立つ白洲次郎(右端、1958〜59年ごろ、山形市の蔵王温泉) 白井久土さん提供